

子どもの人権

5 1 0 0 1	わたしたちの話を聞いて ー子どもの権利条約ー		「子どもの権利条約」をわかりやすく、しかも的確に、視聴覚に訴える。私たちおとなのパートナーとして平和を築き未来をつくる子どもにとり、さらにおとな自身にとっても、「子どもの権利条約」がいかに大切か、じっくりわかります。 (高美南小学校がでています)	32 分 ドキュメンタリー
5 1 0 0 2	子どもの権利 中高生編		「子どもの権利」について、もっとも影響をうける当の子ども達が理解できるよう作られたアニメーションによる無声ビデオです。 果たし合い(制作: チェコ共和国) 「表現の自由・あらゆる知識を入手する自由」 コーラ弾きの若者(制作: ブルキナファソ) 「成熟した個人には人生の自己決定権がある」 仮面(制作: キューバ) 「思想・良心・宗教の自由」	23 分 アニメ
5 2 0 0 1	とべないホタル		羽がちちんで生まれた為に、とべないホタルがいました。彼を励まし、助ける仲間ホタルたち。 足の不自由な妹の為に、ホタル取りにやってきた姉と弟。ホタルと子どもとのふれあいを通して、優しさと、思いやりの大切さを描いている。	16 分 アニメ
5 2 0 0 2	シュンとモモの物語		都会で暮らすシュンとモモは人間に嫌われ、いつもいじめられていました。モモは体が不自由で、とても人間の近くでは生きていけません。ある日、北へ向かう雁の群れに、鳥たちの楽園があると聞いたシュンはモモを連れて行こうと雁を追いかける。	20 分 紙芝居アニメ
右 記 に 記 載	ひとりぼっちの狼と 7ひきの子やぎ VHS:52003 DVD:52010		やさしい心で人に接すれば、その人もきっとやさしい心で応えてくれるのです。	18 分 アニメ

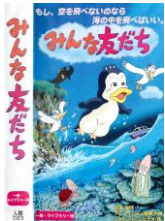
子どもの人権

5 2 0 0 4	よーい ドン! 	さくら小学校の5年1組33人は、スポーツ大会に校内で1クラスだけ選ばれ、「30人31脚」競技に挑戦を始める。全今回の大会では、出場人数が30人と決められているので5年1組は3人が出場できない。 クラスの中には、不登校の健太、足の不自由な亜弥、運動が苦手な通称ゴンがいるので、この3人が当然外れるという暗黙の雰囲気が出るが……。運動が得意なタカシは、男子が自分の速さについてこられないことにいらだち文句を言うので、こずえの発案でタカシを除いて練習するようになった。 傷ついたタカシだが、今日も健太の家へ寄り「健太がいてくれたら……」と話すやさしい面もあった。ある日、タカシとこずえは、亜弥のほんとうの気持ちを知る。みんなの気持ちを合わせる大切さに気づき始めたタカシ。得意な絵を描いて応援することを申し出るゴン。 ついに校内予選の笛が鳴り、33人の気持ちが一つになっていく……。	18分 アニメ
5 2 0 0 5	たぬきの恩返し 	自然を愛し、自然が与えてくれるやすらぎをたくさんの人に味わって欲しいと奥山辰夫は妻と二人で人里はなれた山奥で温泉旅館を営んでいる。しかし、その旅館が今大ピンチを迎えている……。そんな時林道を横断しようとして車にはねられた狸を助けたことから物語りが急展開します。 私たち人間の世界では“恩返し”という言葉は、死語になってしまったのでしょうか？	26分 マンガ ビデオ
5 2 0 0 6	学校生活を快適にすごすためのルール<小学生向け> ～メンタルヘルスへのアプローチ～	ささいな「いじめ」や「暴力」によってもデリケートな子どもは傷つき、学習意欲を失います。ともすれば、大きなものに発展しかねません。子どもたちのちょっとした気づかいで、荒れるところを修復できます。 このビデオを見れば、子どもたち自身が持っている自己修復能力が高まります。そして、すがすがしい気持ちで学校生活が送れ、学習への集中力も伸びます。	22分 ドラマ

子どもの人権

右 記 に 記 載	ねずみくんのきもち  ビデオ：52007 DVD：52011	公園で仲良しのねみちゃんを待っているねずみくん。そこへいじわるねこくんがやってきました。ねこくんにまたいじわるされたねずみくんは考えます。「またいじわるされちゃった。ぼくって、小さくて気が弱くて、なにをしても失敗ばかり。だからいじめられるのかなあ」落ち込んでいるねずみくんに、ふくろうさんは優しく言いました。「きっとねこくんは、ふくろうさんと一緒に、一番大切なものは何か気づいていきます。 相手のことを大切に思う心、思いやりが大切なこと。みんな助け合って生きているということ。みんな違うからいいんだということ。 みんな本当は、素晴らしいところを持っているということ。 ねみちゃんとお弁当を食べようとしたねずみくんは、勇気持ってねこくんも一緒に食べようと誘いました。	12 分 アニメ
5 2 0 0 8	稚内発 学び座 ソーランの歌が聞こえる	かつて、「日本一荒れた学校」の生徒が全国民謡民舞大会で日本一になった。この作品は、地域の大人たちが献身的な協力体制創りに取り組み、荒廃した中学校を見事に再生させた事実に基づいている。親も教師も、子どもとのふれあいを通して一緒に学び合い、自らも育とうと模索し合った。そんな努力が、子どもたち自身の中に共に成長したいという自覚を目覚めさせた。この作品は、地域ぐるみの、親も子どもたちも共に育つ『教育の場創りの意思』を問いかけている。	102 分 ドラマ

子どもの人権

右 記 に 記 載	しっぱい いっぱい もいっぱい VHS:53001 DVD:53008		どうして失敗ばかりするんだろう。子どもたちは失敗を 食べてくれるババールを探しに出かけました・・・	17 分 アニメ
5 3 0 0 2	みんな友だち		自分のことをペンギンだと知らないプウはカモメたち が自由に空を飛んでいるのを見てうらやましく思う。ど うにかして飛ぼうとするプウを見てカモメたちは笑う。 プウが気付いた自分の可能性・・・	15 分 アニメ
5 3 0 0 3	きずだらけのりんご		人間に化けてだました女の子と友だちになったいたず らタヌキのゲンタ。すっかり人間だと信じられ友だちと しての楽しい日々が続くが、嘘をついているのに耐えら れなくなってくる。 「うそ！」と言えたらどんなに楽なことか。 そんなある日、嘘を隠そうとして大変なことに・・・。 悩むゲンタが取った結論は？	23 分 アニメ
5 3 0 0 4	クレヨンの星		ひろい宇宙の彼方に、クレヨンたちがすんでいる星があ りました。ある日宇宙船に乗って金の星王子がやってき ました。「クレヨンの星で一番偉い人に会いたい」と言 います。偉いという価値観のなかったクレヨンの星。仲 の良かったクレヨンたちの間に争いが・・・	14 分 アニメ
5 3 0 0 5	よっちゃんの不思議な クレヨン		不思議なクレヨンが、いろいろな心を教えてくれます。 ① やさしい心 ② みんなの為に奉仕する心 ③ ごめんねという反省の心 ④ 自分だけの間違った欲張りな心 ⑤ ありがとうという感謝の心	22 分 アニメ

子どもの人権

右記に記載	みんな いちばん！  VHS:53006 DVD:53007	子供たちは、さまざまな経験を通し成長していきます。その過程で、つまづき自信を失うこともあります。友達うらやむこともあります。しかし一人一人は違っていても、みんなすばらしいところを見つけることのすばらしさを伝えます。それが、自分も大切、相手も大切という人権感覚を身につけることにつながると考えています。 ♪いいところ見つけた あの子も この子も みんな きらきら ひかっている♪（テーマ曲より）	13 分 アニメ
54002	みーつけた！ 	飼育委員の当番になった 4 年 2 組に俊平が転校してくる。隣の席になった真樹は、内向的な性格でクラスのみんなから無視されていた。そんな真樹をおもしろ半分で飼育委員長に祭り上げるクラスメート。俊平も副委員長を押し付けられるが、みんなは何かと口実を作っては飼育当番をさぼる。ある日ウサギが一匹死んでしまい、真樹と俊平はみんなから責められる。責任を感じてますます熱心にウサギの世話をするようになる真樹。「自分がウサギを守らなければ」と決意した真樹の中で、何かが少しずつ変わり始める。しかし、赤ちゃんウサギを抱こうとしたクラスメートを厳しく制したことが誤解を呼び、再び真樹はみんなからつまはじきにされてしまう。	18 分 アニメ
54003	プレゼント	小学 4 年生の綾香は同級生の美由紀の誕生日に手作りの写真立てをプレゼントする。しかし、それは美由紀の気に入るものではなかった。美由紀は綾香にいじわるをするようになる。美由紀がいじわるをするようになってから、それまで仲の良かった茜や恵まで・・・「いじめ」という行為を例に、登場人物それぞれの気持ちを考えることを通して、他人への思いやりやいたわりの心といった人権尊重意識を養うことを目的としている。	17 分 アニメ

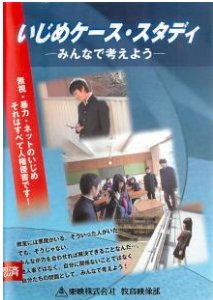
子どもの人権

5 4 0 0 4	「いじめ」を考える ひとりじゃないんだ！ 	中学生の神山翼はクラスの男子生徒3人にいじめられている。 校舎の陰でシャツを脱がされ、腹と背中に「マヌケ」「死ネ」とマジックで大書きされる。 その様子を遠巻きに見ている生徒たちは誰も助けようとはせず、その場から逃げるように立ち去ってしまう者や、ニヤニヤと笑いながら見ている者も…。 真夜中、マンションのベランダからぼんやりと下を見つめてため息をつく翼。いっそ死んでしまおうか…。 「電話相談室」に電話をかけても、声にならない。何度目かの電話で、やはりしゃべりだせない翼にカウンセラーは自分の身の上話を始める「夫はリストラ、子どもはいじめられて不登校…」「あの！…」……「いじめられた子の話を聞かせて…」。「前にも電話をくれた人ですよ。」「……」「あなたもいじめられてるんですか？」「……」「誰か身近に相談できる人はいる？」「……」「前に電話をくれたときには何も話せなかったのに、今日は少し話せたじゃない。」「……」「あなたには話す勇気があるのよ。誰かに必ず相談して！」 出口が無いように見える「いじめ」の闇も、ほんの少しの勇気で何かが少しずつ変わり始める。 「声を出してみたら、助けてくれる人がいっぱいいました。」	30分 ドラマ
5 4 0 0 5	いじめゼロをめざして ～家庭と学校の連携～	現在のいじめは見えにくいといわれている。英美（中2）は同じクラスの夕子たちのグループから学用品を隠されたり体操服を裂かれるなどの陰湿ないじめをうけている。母は変と思うが深くは考えなかった。しかし英美が書き残したメモからいじめ110番に電話したことを知った・・・	30分 ドラマ

子どもの人権

5 4 0 0 6	STOP THE いじめ ①一緒に考えてみよう	いじめ問題 指導用ビデオ ＜エピソードⅠ＞…自分はいじめているつもりはなくとも、相手が心の中で、辛さや悲しさを感じていたらそれは「いじめ」であることを認識させる ＜エピソードⅡ＞ 往復書簡…いじめを受ける者の中には、一人で苦しみ悩む者が多い。一人で悩まずに、勇気を出して誰かに打ち明けよう――。	24 分 ドラマ
5 4 0 0 7	STOP THE いじめ ②君ならどうする	いじめ問題 指導用ビデオ ＜エピソードⅢ＞ In the dream world…いじめ場面を見て見ぬふりをした主人公が、夢の中で大好きなぬいぐるみに裁判にかけられるというストーリーが展開される中、傍観者の問題点が次々に明らかにされていく。 ＜エピソードⅣ＞ 勇気のしるし…いじめの劇に取り組む四人の演劇部員の会話で進行する。劇の内容に自分の体験を重複させ、「いつまでも心に残るにがい思い出」を追体験する。	29 分 ドラマ
5 4 0 0 8	わたしは負けない＜小学校＞	ひろみはいつもみんなから「スパゲッティー」「もんじゃもんじゃ」「らーめん」などと頭の髪の毛のことでからかわれていました。学級で、あだ名についてみんなで話し合いました。いじめは差別。嫌がるあだ名で呼ばないと学級で決めた。その結果、ひろみはあだ名のことはきにならなくなった。 そんな折、6年生にあだ名でからかわれ、また学校へ行くのが嫌になった。次の日、学級の中で、あだ名について学んだことを劇にして全校生徒の前で発表しよう！ということになった。 劇の最後に、「私たちは、面白半分になんか人をからかったりあだ名を言うのはやめました。」「クラスの中に悔しい思いをしたり、一人ぼっちの友達がいないか気をつけてきました。」「その結果、学校にこれなかった友達が学校に来れるようになったり、いじめや仲間はずれのない楽しいクラスになってきました。」「こうした勉強をしてきたので、私はからかわれても決して負けない。私には仲良しの5年生の友達が居る」・・・と胸を張って全校生徒の前で言うことができた。	26 分 ドラマ

子どもの人権

5 4 0 0 9	被害者の心の叫び	いじめを考える[被害者の心の叫び]電話相談で訴える中学生の悩みをはじめ、いじめ、具体的ケースや小学校・中学校でいじめを受けたが、それを克服し今日を迎えているという中学生・高校生・大学生が描かれている。	16分 ドラマ
5 4 0 1 0	加害者の心の弱さ	多くの実体験をもとに、なぜいじめに走るのか、加害者の心の歪みや弱さ、卑劣な行動を黙認する事は、加担している事なのだという事を描く。	14分 ドラマ
5 4 0 1 1	いじめケース・スタディ -みんなで考えよう- 	いじめには、無視、暴力、プロフ・プログ・掲示板（学校裏サイト）での誹謗中傷等がある。どのような対応をすればいじめ被害を解決できるか、保護者や教員にどのように相談していけばいいかを、それぞれのケースにあわせ教育評論家尾木直樹さんが解説する。 Case Study1 無視 ある日登校すると、周囲の視線がいつもと違う。声をかけても反応がおかしい。そんなとき、どのような対応ができるかを紹介している。 Case Study2 暴力 はっきりとした暴力のほかに、悪ふざけや遊びの延長のようにして起きる暴力。友だち関係を失いたくないために、暴力を遊びの延長だと考えてしまう被害者がいる。そのため、加害者にも「暴力=いじめ」の自覚がない場合がある。そんなとき、どのような対応ができるかを紹介している。 Case Study3 携帯 ちょっとしたいさかいや行き違いから始めたネットでの誹謗中傷が、あるとき見知らぬ人まで加わった、ネットの暴力に変わる。姿の见えないネットのいじめにどう対応していけばいいかを紹介している。	16分 ドラマ DVD

子どもの人権

5 4 0 1 2	いじめと戦おう！ ～私たちにできること～ 小学生篇 	本教材は鑑賞した児童がいじめの、当事者、被害者、傍観者の立場を理解し、考えることができるドラマ形式の教材です。またクラスの大多数を占めるであろう傍観者が如何にして“いじめの構図”を崩せるかという視点を中心に、いじめ問題全体について話し合うために活用頂けます。	21 分 ドラマ DVD
5 4 0 1 3	いじめと戦おう！ ～もしもあの日に戻れたら～ 中学生篇 	いじめはどのようにして起こり、どうすれば防げるのかは保護者や教員にとって大きなテーマともいえます。本教材は、鑑賞した生徒がいじめのメカニズムや対策を自分の身に置き換えて考えることができるドラマ形式の教材です。いじめられっ子の立場だけでなく、傍観してしまっている生徒たちが如何にして、クラスの“いじめの構図”を崩せるかという視点を中心に、いじめ問題全体について話し合うために活用頂けます。	23 分 ドラマ DVD
5 4 0 1 4	いじめはやめられる！ ～みんな加害者～ 	いじめは、クラス内に観衆や傍観者が生まれることで大きくなると同時に、大人の眼には見えなくなっていきます。また昨今では、多くの観衆を求めて、ネット上にいじめの動画を流すという事案も出てきました。観衆・傍観者であれば、加害者ではないのか……。いじめを受け入れてしまうひとりひとりにならないために何が必要なのか。子どもたちに、いじめについて新たな問題を提起するドラマ形式の教材です。	17 分 ドラマ DVD
右 記 に 記 載	いじめ14歳の MESSAGE VHS:54015 DVD:54016 	ある中学校。どこにでもある昼休みの教室。 慧佳はふらふらと窓の外へ向かう。「ああ・・・これで地獄から解放される」いじめによる自殺。幽体となった慧佳は、騒然としている学校へ行き、もう一度、人生や学校生活、家族や友達のことを振り返る。	25 分 アニメ
5 4 0 1 7	負けるな！千太	弱い者への慈しみや命の尊さを基本に、誰の心にもいじめ虫がいる事いじめという行為がいかに醜く、無益であるかを、アニメの特性をフルに活用し描いてます。命とは？人間とは？いじめとは？ひとりひとりの心に直接問いかけを試みる、ある夏の物語です。	24 分 アニメ DVD

子どもの人権

5 5 0 0 1	幼い命の悲鳴を救うために 地域の虐待防止	相次ぐ児童虐待事件。子どもの悲鳴を耳にした隣人。 虐待問題への関わり方を探っていく。	26 分
5 5 0 0 2	いのち輝くとき 	深刻な社会問題となっている、親による子どもへの虐待。地域社会から孤立している核家族の親が現代社会や家庭生活の中で様々なストレスを抱え込み、そのはけ口として抵抗できない子どもへの虐待が増えているのでは・・・。 若い夫婦が、地域のお年寄りの温かい思いやりと励ましで立ち直っていく。生きていることの素晴らしさと命の尊さを問う。	30 分 ドラマ
5 5 0 0 3	虐待防止シリーズ 幼児・児童虐待 一見えない虐待をしないためにー	実例3話のオムニバスドラマ。仁木やす子先生がドラマに沿って、問題点と虐待を防ぐ対応法をわかりやすく紹介。巻末で富田富士也先生が求められる親の気づきをアドバイスします。 〈事例1 エゴの押し付け〉 〈事例2 発書への不安と孤立〉 〈事例3 過干渉としつけへの思い込み〉	25 分 ドラマ DVD
5 5 0 0 4	起こる前に考える 子ども虐待	孤独な群集がうごめく今、社会の病「虐待」をどのように理解したらよいのか。子どもたちを守るあらゆる立場の人のための6つの断章。 1. 社会問題化している虐待(9:07) 2. なぜ起こる子ども虐待(4:04) 3. 虐待を起こしてしまう感情のうねり(5:00) 4. 虐待を受けた子どもの反応(4:17) 5. 愛着形成と子どもの育ち方を知る…虐待防止のために(5:39) 6. 虐待防止にむけたさまざまな取り組み(11:08)	39 分 DVD

子どもの人権

5 6 0 0 1	からだほぐしとうたあそびⅠ 	1歳から3・4歳ぐらいまでを対象にしてあげるあそびから一緒にあそぶをテーマにした遊びで構成されています。実際の子どもと先生のやりとり・遊びかたを3歳児をモデルに実写していますのでとてもわかりやすい教材となっています。 1 じどうしゃ おふね ひこうき 2 にほんばし・ふーゆべまー 3 そうきん・かっちゃんこ 4 げんこつやま 5 カメ カメ・いもむしゴーロゴロ 6 ぽっとな 7 なべなべそこぬけ 8 大なみ 小なみ 9 うま	23 分 教材
5 6 0 0 2	からだほぐしとうたあそびⅡ 	3歳から上は小学校までを対象にしています。5歳児と先生との実際のあそびを具体的に写し出しています。 1 森の中から 2 すくぽんしょ（つくし） 3 歩く（手・ござる・おしり） 4 石・わた・木 5 もしもしカメよ 6 いたづらきゅり 7 手あわせあそび（おちゃらか・アルプス一万尺・ヨルム・もちつき） 8 なべなべそこぬけ 9 こーじゃ馬小 10 スイミー遊び	25 分 教材
5 6 0 0 3	あしたね ～ゆれ動く心・4歳児～ 	幼児教育にたずさわる方たちの幼児理解を深めるための教材用ビデオです。 このビデオに登場してくるタカシくんは4歳児の持つ自分探しとして、揺れ動きながらも友だちとの様々な出会いを見せてくれています。もちろん人として心の快適な距離も大切ですが、揺れ動く友達関係の中で自己の世界を拡げていく幼児の素晴らしさを映像を通して学びたいものです。	22 分 ドラマ
5 6 0 0 4	親子で遊ぼう からだほぐし	子どもにとって、からだをほぐし親とたくさん触れ合うことは、とても大切なことです。そんな親子のふれあいあそびの方法を紹介します。	15 分 教材

子どもの人権

5 6 0 0 5	3年間の保育記録（4歳児編） 先生とともに	4歳は友だちとの関係のなかに、自分の世界を広げていく時期ですが、だれもが心に葛藤を覚えます。幼児の心をほぐし、動きださせるためには、幼児の心をほぐし、動きださせるためには、幼児の心に寄り添い、支える保育者の存在がなにより大切なことをこの映像は伝えます。	46分 ドキュメント
5 6 0 0 6	3年間の保育記録（5歳児編） 育ちあい学びあう生活のなかで	3年間の保育最後の5歳児のリョウガ君はたくさんの友だちに出会い、刺激を受け、時にはぶつかり合いながら育っていきます。そうした子どもどうしの関係を作っていくことが保育者の大切な役割です。リョウガ君が友だちや先生と暮らした3年間を通して、幼児期の教育の大切なことを伝えます。	57分 ドキュメント
5 7 0 0 1	体験から学ぶ心のふれあい 	ボランティア活動に取り組む青年達。何かを「してあげる」構えではなく、自然に「手を差し伸べる」彼らは活動を通して自らが得しているものの尊さに喜びを見出している。 自分には何ができるのだろうか……。社会の一員として「地域の結びつきの重要性」に気づかせ、「ふれあいに喜びを感じる心」そして「よりよく生きる力」を養います。	19分 ドキュメンタリー -
5 8 0 0 1	青少年の自主性と社会性を育む地域づくり	青少年が主体的に活動している茨城県真壁町の桃山中学校では、職場体験学習の発表や創作劇、今の自分たちの思いを語る「未来へのメッセージ」など2年生全員が責任を持って、実行してます。千葉縣市川市では、中学校区ごとに運営委員会を組織して、子どもたちの体験の場づくりを進めています。青少年の自主性や社会性を育むためには、いま何が求められているかを考えます。	23分 ドキュメント
5 8 0 0 2	君の未来をひらくために ～中学生と進路～	中学生の誰しもが直面する進路問題。それは自分がどんな職業につきたいか、どんな人生を送りたいかという未来への夢や希望です。この作品は、進路問題をドラマ形式で、その重要性を生徒達に気づかせ、意欲的に取り組ませるきっかけとなる様に作られた作品。	20分 ドラマ